

一枚の絵

佐々木 英雄

運動に心を打込み夢中で過ごした青春時代、仕事で忙しかった中年時代、そして時間的余裕が少し出来てきた現老年期、これから少し自由でゆとりのある日々を送りたいと思っていた時、長年我家の玄関に掲げてあった一枚の画に日毎、心が強く惹かれるようになりました。

それから多くの絵画鑑賞や美術展見学等に行き、色々な絵画等を見ているうちに、作者のその作品に込められた、自由で寛容な心、柔軟で素直な心、そして緻密で、大変な努力の結果が表れているように思われ、強く心が惹かれるようになりました。

人は自身の心を社会に対し、自由奔放に発することが大変難しいと思うが、多くの美術品等を見て、作者の意志が広く社会に発信されていると思われるようになってきました。

私もこれからより自由で寛容、素直な心で社会にとけこみ、柔軟な心を持ち、平和でより静かな日々を送れるよう努力して行こうと思っています。

このように私の心に大きな心境の変化を与えてくれた、きっかけが一枚の画です。50年ほど前に松井画伯からいただいた、自然の山並みを描いた風景画であります。いつも玄関で私を見ているような気がし、心の大きな支えとなっている大事な大事なこの絵が、一枚の大画です。

